第 32 回環境情報科学 学術研究論文発表会

ー 同時開催 第 15 回環境情報科学ポスターセッション ー

日　時： 2018 年 12 月 17 日（月）8：55～19：00（受付開始 8：30）

会　場： 日本大学会館大講堂ほか
〒102-0074 東京都千代田区九段南 4 丁目 8 番 24 号　　TEL. 03-5275-8110

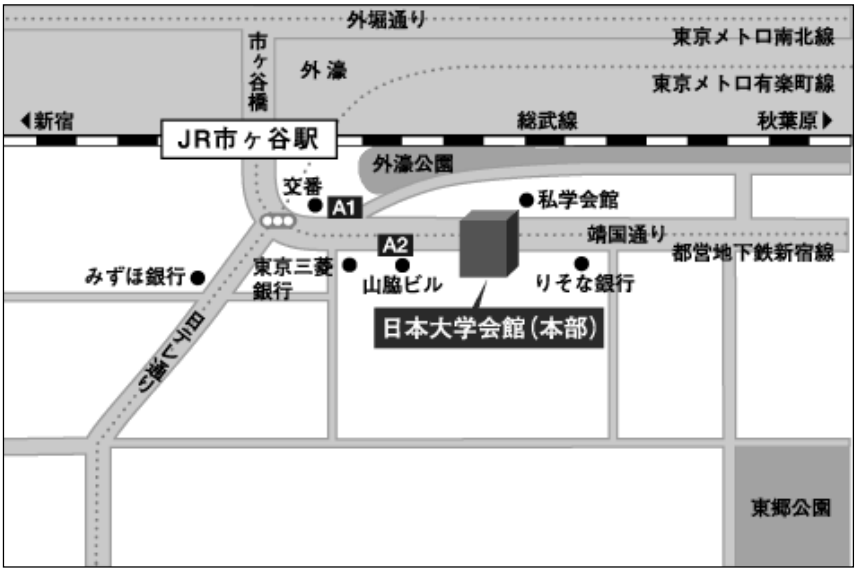
内　容：・**環境科学に関する研究論文発表 57 題**（内　口頭発表 50 題・ポスター発表 7 題）
・**環境科学に関するポスターセッション約 50 題**
・**会員からの公募による企画セッション（4 セッション）**：
①再生エネルギー100％社会の実現に向けてー世界の動向と日本の取り組みー
②SDGs の地域社会との接合可能性を探るーマルチステイクホルダー･パートナーシップの観点から
③海洋資源開発における海洋環境影響評価
④アジア地域の持続可能な社会形成の法政策制度とその社会実装に向けてーCCS を事例としてー
・**一般公開シンポジウム「第 5 次環境基本計画の策定等を踏まえた持続可能な開発目標（SDGs）の達成への取組と環境研究からの貢献」**
・**研究者交流会**（優秀ポスターの表彰ほか）

参加費：正会員・賛助会員 2,000 円　準会員 1,000 円　非会員一般 3,000 円　非会員学生 1,500 円
（ただし　シンポジウムのみの参加は参加費無料。その場合，開場受付　14：45～）

※研究者交流会参加費（希望者のみ）：
正会員・賛助会員 3,000 円　準会員 2,000 円　非会員一般 4,000 円　　非会員学生 2,500 円

◆問合せ先（事前申込不要）◆
一般社団法人環境情報科学センター　事務局
〒102-0074　東京都千代田区九段南 3-2-7 いちご九段三丁目ビル
TEL: 03-3265-3916　　FAX: 03-3234-5407　　E-mail: member-jimukyoku@ceis.or.jp
URL: http://www.ceis.or.jp/

◆会場地図◆



（日本大学ホームページより転載）

【交通】
JR 市ヶ谷駅下車 徒歩２分、東京メトロ・都営地下鉄 市ヶ谷駅下車 徒歩２分

第32回 環境情報科学 学術研究論文発表会 全体プログラム

※収容人数

	A会場（大講堂） ※約200名	B会場（大講堂） ※約100名	C会場（204会議室） ※約30名	D会場（203会議室） ※約40名	E会場（201会議室） ※約20名
8:30	受付開始				
8:55	開会挨拶(論文審査委員長)				
9:00 9:15 9:30 9:45	論文発表 ＜論文口頭発表＞ 発表セッション① 「都市・地域環境」 9:00～10:30		論文発表 ＜論文口頭発表＞ 発表セッション② 「景観」 9:00～10:00	論文発表 ＜論文口頭発表＞ 発表セッション⑥ 「環境教育・市民参加」 9:00～10:30	論文発表 ＜論文口頭発表＞ 発表セッション⑦ 「レクリエーション・観光」 9:00～10:00
10:00 10:15 10:30 10:45			論文発表 ＜論文口頭発表＞ 発表セッション③ 「気候変動・エネルギー」 10:00～11:00		論文発表 ＜論文口頭発表＞ 発表セッション⑧ 「環境心理」 10:00～12:00
11:00 11:15 11:30 11:45 12:00 12:15 12:30 12:45 13:00	企画セッション 企画セッション① 「再生エネルギー100%社会の実現に向けて－世界の動向と日本の取り組み－」 11:00～12:30	ポスター発表・ポスターセッション ○論文ポスター発表（7題） ○環境情報科学ポスターセッション（約50題） ***** ※質疑応答：11:45～13:45 ※ポスター展示時間： 11:00～14:30	論文発表 ＜論文口頭発表＞ 発表セッション④ 「地域・制度設計」 11:00～12:30	企画セッション 企画セッション③ 「海洋資源開発における海洋環境影響評価」 11:00～12:30	
13:15 13:30 13:45 14:00 14:15 14:30 14:45	企画セッション 企画セッション② 「SDGsの地域社会との接合可能性を探る－マルチステイクホルダー・パートナーシップの観点から－」 13:15～14:45		論文発表 ＜論文口頭発表＞ 発表セッション⑤ 「生態系・水環境・熱環境」 13:15～14:45	企画セッション 企画セッション④ 「アジア地域の持続可能な社会形成の法政策制度とその社会実装に向けて－CCSを事例として－」 13:15～14:45	論文発表 ＜論文口頭発表＞ 発表セッション⑨ 「地域・農村」 13:15～14:45
15:00 15:15 15:30 15:45 16:00 16:15 16:30 16:45 17:00 17:15	シンポジウム 一般公開シンポジウム 「第5次環境基本計画の策定等を踏まえた持続可能な開発目標（SDGs）の達成への取組と環境研究からの貢献」 15:00～17:15				
17:30 17:45 18:00 18:15 18:30 18:45		研究者交流会 （優秀ポスター発表等） 17:30～19:00			

一般社団法人環境情報科学センター　一般公開シンポジウム

「第５次環境基本計画の策定等を踏まえた持続可能な開発目標（SDGs）の達成への取組と環境研究からの貢献」

日　　時：2018 年 12 月 17 日（月）15：00～17：15（14：45 開場）

場　　所：日本大学会館　大講堂　A 会場（東京都千代田区九段南 4-8-24（JR 市ヶ谷駅 徒歩２分））

主　　催：一般社団法人 環境情報科学センター

後　　援：環境省

開催趣旨：環境情報科学センター（CEIS）では、SDGs の達成に向けて、環境研究面からの貢献を促進するため、昨年 12 月に「SDGs の達成に向けた多様な環境研究の取組みと今後への期待」をテーマとしてシンポジウムを開催しました。その後、SDGs アクションプラン 2018 の策定、SDGs 未来都市の選定、第 5 次環境基本計画や第 4 次循環型社会形成基本計画、エネルギー基本計画の策定等が行われました。特に新環境基本計画では、地域循環共生圏の創造を通じて、環境、経済、社会の統合的向上に取り組み持続可能な社会を達成していくことが目指されています。さらに、国際的には、本年 7 月に国連ハイレベル政治フォーラムにおいて SDGs の実施状況のレビューの実施、12 月には第 24 回気候変動枠組条約締約国会議が開催され、パリ協定の実施細目が合意される状況になっています。

今年度は、このような持続可能な社会の形成に向けて加速しつつある国内外の動きを踏まえ、環境アセスメント、循環の分野での研究、また、SDGs・地域循環共生圏の達成に向けた研究とそれに基づく自治体の実践という観点から、各研究分野や分野間の連携について SDGs の達成に向けた研究の課題や推進方策等を議論することにより、SDGs の達成への取り組みを環境研究面から促進することを目指します。

なお、本シンポジウムは、環境情報学術研究論文発表会の一環として開催するもので、会員に限らず広く一般の方も対象に公開して開催します。

参 加 費：無料（事前申込不要）

プログラム

１）特別講演（15 分）

「Society5.0 時代の“地域循環共生圏”実現と SDGs 達成への取組―第 5 次環境基本計画への環境研究の貢献―」

森本　英香　氏：環境事務次官

２）基調講演（25 分）

「第 5 次環境基本計画と SDGs の達成に向けた取り組みについて」

浅野　直人　氏：前中央環境審議会会長、福岡大学名誉教授、太宰府市環境審議会会長、福岡県環境審議会会長、北九州市環境審議会会長

３）テーマ別講演　（各 15 分）

「環境アセスメント分野での SDGs への取組み」

村山　武彦　氏：東京工業大学環境 社会理工学院 教授・CEIS 理事

「SDGs と循環型社会の指標・目標」

森口　祐一　氏：東京大学大学院工学系研究科 教授

「地域課題解決と社会的投資の促進に向けたＳＤＧｓ社会的インパクト評価実証プロジェクト」

山口健太郎　氏：神奈川県いのち・ＳＤＧｓ 担当理事

４）パネルディスカッション　（50 分）

モデレーター　村上暁信　氏：筑波大学システム情報系 教授・CEIS 理事

パネラー　　村山　武彦　氏：（前掲）　　森口　祐一　氏：（前掲）　　山口健太郎　氏：（前掲）

問い合わせ先：一般社団法人環境情報科学センター　事務局（〒102-0074　東京都千代田区九段南 3-2-7）
E-mail　member-jimukyoku@ceis.or.jp　　TEL　03-3265-3916　　FAX　03-3234-5407

■講演者・モデレーター　プロフィール（講演順：敬称略）■

特別講演　森本 英香（もりもと　ひでか）：環境事務次官

大阪府出身　１９５７年１月生　昭和５６年環境庁入庁
環境省大臣官房長、原子力規制庁次長、原子力安全規制組織等改革準備室長（内閣官房内閣審議官）、環境省大臣官房審議官（自然保護担当）・総務課長・秘書課長のほか、国際連合大学（UNU）上級フェロー、East West　Center 研究員（アメリカ）、地球環境パートナーシッププラザ所長、地球温暖化京都会議（COP3）議長秘書官等を経て、２０１７年７月より現職。東京大学法学部私法学科、政治学科卒　早稲田大学非常勤講師

基調講演　浅野 直人(あさの　なおひと)：

前中央環境審議会会長、福岡大学名誉教授、太宰府市環境審議会会長、
福岡県環境審議会会長、北九州市環境審議会会長

1943 年名古屋生まれ、1966 年九州大学法学部卒、同大学院、助手を経て、1972 年から福岡大学法学部に勤務、1980 年から福岡大学教授、2014 年同名誉教授。1980 年から環境庁・環境省の多数の委員会委員。この間、環境科学会会長、環境アセスメント学会会長、中央環境審議会委員・同部会長・会長、福岡市環境審議会会長などを歴任。現在も中央環境審議会臨時委員、福岡県・北九州市環境審議会会長などの職にある。専門は民法・環境法。

テーマ別講演①　村山 武彦(むらやま たけひこ)：東京工業大学環境 社会理工学院 教授・CEIS 理事

東京工業大学大学院博士課程修了（工学博士）。福島大行政社会学部助教授、早稲田大創造理工学部教授などを経て現職。環境影響評価、リスク評価、環境計画や政策を中心に教育研究に携わる。中央環境審議会の環境影響評価小委員会委員、国際協力機構（JICA）の環境社会配慮助言委員会委員長などを歴任。2008 年から Environmental Impact Assessment Review (Elsevier)の国際編集委員、2010 年から一般社団法人日本リスク研究学会事務局長、2012 年から環境アセスメント学会副会長。

テーマ別講演②　森口 祐一(もりぐち ゆういち)：東京大学大学院工学系研究科 教授

京都大学工学部衛生工学科卒業。1982 年国立公害研究所総合解析部研究員。国立環境研究所社会環境システム研究領域資源管理研究室長等を経て、2005 年国立環境研究所循環型社会形成推進・廃棄物研究センター長。2011 年東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻・教授（現職）。日本学術振興会学術システム研究センター主任研究員（環境学担当）,日本学術会議連携会員，日本 LCA 学会会長、廃棄物資源循環学会副会長。2013 年産業エコロジー国際学会（ISIE）Society Prize 受賞、2014 年環境科学会学術賞受賞。専門は環境システム学・都市環境工学。

テーマ別講演③　山口 健太郎(やまぐち けんたろう)：神奈川県いのち・SDGs 担当理事

昭和 58(1983)年　　神奈川県　入庁
平成６～８年 神奈川県ロサンゼルス駐在員
平成 25(2013)年　　参事兼国際戦略総合特区推進課長
平成 26(2014)年　　ヘルスケア・ニューフロンティア推進局事業統括部長
平成 28(2016)年　　ヘルスケア・ニューフロンティア推進統括官
平成 30(2018)年　　理事（いのち・ＳＤＧｓ担当）

モデレーター　村上 暁信(むらかみ あきのぶ)：筑波大学システム情報系 教授・CEIS 理事

東京大学大学院農学生命科学研究科博士課程修了後，東京大学助手，ハーバード大学研究員，東京工業大学講師，MIT 研究員等を経て現職。専門は緑地計画，都市農村計画。著書に『これからの日本に都市計画は必要ですか？』（共著，学芸出版，2014 年），” Sustainable Landscape Planning in Selected Urban Regions”（編著，Springer Japan，2017 年）など。